

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	まちづくり局公園緑地課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	公園緑地課長 米田 光明 (課長補佐兼整備係長 増田 貴志)	内線	4475 (4486)
------	-------------	---------------------	-----------------------------------	----	----------------

事業種目	都市公園事業	事業採択年度	S63		現 計 画	再評価時点
事業名	阪神間都市計画公園事業 有馬富士公園	着工年度	S63	総事業費	366 億円	396 億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	215 億円	245 億円
事業区間	第1期事業 (A=179.5ha)			完成予定年度	H21	H16
所在地	三田市福島			進捗率 (内用補進捗率)	83% (99%)	38% (50%)
事業の目的				事業内容		
阪神間における多様化するレクリエーション需要に対応するために、自然環境に恵まれた当地区を住民参加型のモデル公園として整備する。				A = 179.5ha 出会いのゾーン、自然・文化体験ゾーン、シンボルゾーン、休養ゾーン		
進捗状況	平成13年に約180haのうち出会いのゾーン65.5haを開園し、現在、平成17年完成に向け出会いのゾーンの整備を進めているところである。用地については、99%確保できており、自然・文化体験ゾーン、シンボルゾーン、休養ゾーンの整備を平成21年度完成を目指している。					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続対象となる 保全・育成が中心となる自然・文化体験ゾーンを整備することにより、出会いのゾーンで得た知識を元に、自然環境調査の場となり、大規模な緑地の保全は、良好な景観を形成し、季節感、心の安らぎ等の精神的充足を与える。地域のシンボルとなる有馬富士及び福島大池を背景としたシンボルゾーンについては、里山活動を通じて農山村体験及びシンボルとなる風景の維持するとともに、公園利用者の交流、体験、環境学習の場を提供できる。千丈寺湖の湖畔に位置する休養ゾーンでは、野外活動を通じて自然の中でくつろげるスペースを提供できる。 ・ 以上の効果の早期実現に向けて計画・整備を行っており、平成21年の完成に向けて継続中である。 					
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成13年に、草地、水辺、林の生態園等からなる出会いのゾーン65.5haを開園し、自然とのふれあいを求め、年間約52万人の人々に親しまれている。また、残計画を整備することにより、本公園で育ったコーディネーターの活躍する実習フィールドが確保できるとともに、有馬富士公園運営・計画協議会と運営、計画の面で連携することにより、県重点政策である「参画と協働」の場として、親しまれる愛される公園づくりのモデルともなる。 					
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園に近接する「県立人と自然の博物館」が運営・計画に積極的に参画しており、自然環境に配慮した計画を推進している。 					
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在整備を推進している「出会いのゾーン」（遊びの王国）の一部開園を平成17年に予定している。また、同年秋には、「第29回全国育樹祭」が「休養ゾーン」のキャンプ場予定地で行われるため、有馬富士公園運営・計画協議会と連携のもと育樹祭との計画調整を行いながら、早期開園を目指し整備を継続する必要がある。 					
再評価結果	継 続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。			